

① 花嫁街道 南房総の海辺集落と山間集落を結ぶ古道・花嫁街道

【概要】

房総半島の南端に位置する、沿岸捕鯨で有名な旧和田町方面の海辺集落と、上三原、五十蔵などの山間集落を結ぶ古道は、近年ハイキングコースとして整備され花嫁街道と呼ばれるようになった。古くは塩汲みの道であり、生活物資が往来し、その後、学校への通学路として利用され、花嫁行列も通ったとされる。

【森林の特徴と見所】

スギ、ヒノキなどの人工林とマテバシイ、スダジイなどの照葉樹が主体。樹木には、暖地性の蔓植物であるフウトウカズラがかなりの高さまで絡んでいるのが目につく。林床にはシダ類も多い。

マテバシイは太平洋側ではサバ節製造の燃料としての薪として多く使われ、東京湾側では海苔の養殖用の粗朶（ノリヒビ）に利用された。今は放置され純林を形成している。葉が茂り、落葉・落枝は腐食しにくく、そのため林床に下層植物が全く見られないのは気になる場所。

五十蔵口から入った所に、北方系のモミと南方系のカゴノキがあるのは面白い。

上三原地区の「自然の宿くすの木」は、H7年の小学校の統合により、122年の歴史を閉じた上三原小学校の土地と建物を利用して完成した町営の体験交流施設である。その横にある山神社は、樹齢750年、幹周り12m、樹高32m、安房地区最大のクスノキがご神体。第一回の千葉県指定の天然記念物の一つである。

烏場山は岩崎元郎氏が新百名山としたことから有名になったが、標高は266m。山頂はさして広くなく、眺望も悪い。少し手前の展望台からは北側に房総半島で最も古い地層と言われる嶺岡丘陵が見られ、千葉県最高点でありアンテナのある愛宕山408mや伊予ヶ岳などが眺望できる。

烏場山から時計廻りに花婿コースを下ると、黒滝から和田町に至る。

【歴史文化】

花嫁街道は昔とは多少道筋は変わっているが、歴史は古く、次のような地名が残っている。

・じがい水（自我井水）：この水を飲んだ後自害したという説、山中のかくし田の水利、水源に使われたとも言われる。



- ・さじき塚（棧敷塚）：馬駆け場とありますが、何でしょう？
- ・経文石：かつての道は下側を通り、50年くらい前までは見上げるとかすかに梵字が読み取れたが、風化が進み現在は見えない。
- ・上三原集落も歴史は古く、頼朝伝説に出てくる名馬「スルスミ」を産出したといわれる礎森（スルスモリ）集落、里見伝説の残る五十蔵集落、竹の中集落の竹は海辺の漁業の必需品である満漁籠などに利用された。

【コース紹介】

五十蔵口①を起点とし、少し急登の後、ゆるやかな上りが続き「さじき塚」の看板②を見てさらに進むと③駒返しに分岐となる。ここから左に道を取って鳥場山に向かうが、途中のカヤ場④では南側に太平洋を望むことができる。さらに歩を進めると展望台⑤があり、北側に嶺岡丘陵、千葉県で一番高い愛宕山 408m や伊予ヶ岳を同定することができる。鳥場山 266m⑥の山頂はさほどの広さはなく、眺望もいまいち。カヤ場で昼食とし、駒返しから左に道をとって南方の旧和田町方面に向かう。途中マテバシイ林⑦を見て、旧和田町口に至り、舗装道路を進み⑧市営駐車場に到着する。踏切手前で抱湖園に寄り道することもできる。2月頃の元朝桜は有名。コース距離 8.2km、観察時間も含み 5～6 時間の行程。



山神社のクスノキ



サジキ塚

野外講座企画のための情報

FS 指数：4 B 水平距離：8.2km 登高 500m

トイレ：カヤ場、和田町口、市営駐車場

昼食場所候補：鳥場山手前のカヤ場

安全確保上の留意点：鳥場山手前の階段

近隣の見所：上三原の山神社のクスノキ、抱湖園
(花畑、元朝桜ほか)

鳥場山



花嫁街道 マテバシイ林

コースで見られる主な植物等

スギ、ヒノキ、モミ、イヌマキ、スダジイ、マテバシイ、コナラ、アラカシ、クヌギ、タブノキ、カゴノキ、カラスザンショウ、ヤブニッケイ、シロダモ、カクレミノ、ガマズミ、ハリギリ、アカメガシワ、マユミ、ヒサカキ、キブシ、アオキ、サンショウ、トベラ、イヌビワ、ウツギ、バクチノキ、コゴメウツギ、イボタノキ、アリドウシ、オオアリドウシ、ハナイカダ、ニワトコ、ムラサキシキブ、マンリョウ、イズセンリョウ、タマアジサイ、ツタウルシ

フウトウカズラ、テイカカズラ、ノコンギク、カントウヨメナ、リュウノウギク、サラシナショウマ、ハナミョウガ、フユイチゴ、ミゾソバ、アキカラマツ、サルトリイバラ、ヤマホトトギス、ヤブラン、コ克蘭、ホウチャクソウ、ヒヨドリバナ、キッコウハグマ、オカダイコン、ツルニンジン、イワガネソウ、イワガネゼンマイ、ホシダ、リョウメンシダ、フモトシダ

この地域は、地質は第三紀層であるが、深層まで風化による粘土化が進んでいるため、地すべりが頻発する。地すべり防止区域に指定され、各所で県による地すべり防止工事が行われている。